



みんながじまんでできる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和5年度 第5号 7月21日発行

夏休みと親子の関係

今日で1学期が終わり夏休みに突入します。122名の新入生が入学した4月から4か月が経ちました。これまで各ご家庭には様々なご支援をいただき本当にありがとうございます。また、子どもたちの登校を見守ってくださった方々、読み語りボランティア「ダンデライオン」の皆様のおかげで、子どもたちは安全に登校し、読み読みの声に耳を傾けるほっとした時間を過ごすことができました。

さて、明日より子どもたちはご家庭や学童保育で、または地域でその時間の多くを過ごすこととなります。ご家庭では食事のお世話や様々なご指導など大変かと思えます。また、お仕事と家事・育児の両立でなかなかゆっくりした時間がないと言われる保護者の方も多かろうと思えます。それは重々承知の上で、「お子さんといっしょの時間を過ごすのは小学校の時くらいですよ。」ということをお話しします。

先日も中学生のお子さんがいらっしゃる登校見守りのボランティアの方と、次のような話をしながら学校に来ました。中学校、高校になると親子で行動するということがめっきり減ってしまうということです。中学校に入学すると部活が忙しくなり帰宅時刻も遅くなります。土日はもちろん夏休み中も部活の練習が入り、子どもたち自身自由な時間が少ないというのが現状です。中高生の部活については、その在り方について見直しがされつつあることはご存じかと思えます。ひと昔前より練習や遠征に行く機会が減ったと言っても、がらりと変わったわけではありません。加えて、部活のない自由な時間を家族とともに過ごすかというところではなく、友達と過ごすことを選ぶのが中高生の現状でしょう。それが中高生らしい発達段階とも言えます。そうなれば、親子一緒の夏休みを過ごすことができるのは小学校の時くらいのもので、人生100年時代のわずか6年間です。どこかにご家族で行かれるのもいいかもしれませんが、それだけではなく、ご自宅で、あるいは近辺でお子さんとどんな夏を過ごされるかご思案いただければ幸いです。そして、保護者の皆様の時間が許される範囲で、親も子も一緒にいることを楽しんでいただける夏休みであってほしいと思えます。

そういえば、先に話した登校見守りのボランティアの方とある子の会話。「○○ちゃん、夏休みの研究、去年も楽しいのやってたよね。あれ、誰とやってるの?」「お父さん!」と答える子どもの笑顔。「今年も何か楽しいことやるのかな?」「お父さんが考えると思う。」

こんな夏休みもありがたいものです。夏休みの作品といえば、「子どもの力でさせなきゃ!」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、親子でああだ、こうだ、と言いながら作ったり研究したりする時間も、夏休みらしい素敵な時間だと思います。もちろん、これも無理がない範囲で…。



行事予定 8月

日	曜	行事等	日	曜	行事等
9	水	県民祈りの日 全校登校日 平和集会	30	水	短縮日課 6校時カット ~1日(金)まで
29	火	2学期始業式 給食なし			

9月 *4月当初配布した予定より、担任の出張に関わり授業参観の学年が変更しています。

日	曜	行事等	日	曜	行事等
4	月	校内夏休み作品展(~8日) 身体測定(2) 授業参観・懇談会(3・4)	12	火	児童集会
			13	水	6校時カット
5	火	授業参観・懇談会(1・2) 身体測定(3)	15	金	市夏休み作品展(島瀬美セ~18日)
6	水	委員会活動(5・6) 身体測定(4)	19	火	音楽朝会
7	木	身体測定(5)	20	水	6校時カット
8	金	授業参観・懇談会(5・6) 身体測定(6)	26	火	体育朝会
11	月	縦割り活動(掃除カット)	27	水	代表委員会 大塔タイム

その数 21 個!

何度か話しているように、私は毎朝あちらこちらの通学路に行って子どもたちといっしょに歩いて学校まで来ます。昨年4月に赴任して、こうやって歩いていると、通学路にいくらかのゴミが落ちているのを子どもたちと確認し、「ゴミがあるねえ…」と話していたのですが、そのうち「ついでだから拾おう。」とゴミ袋を持って出かけるようになりました。「校長先生、手が汚れるでしょう。火ばさみありますよ。」と言ってくれる職員もいるのですが、登校中のちょっとしたわんぱく坊主が「貸して、貸して!」となり、けがや事故の元にもなりかねないことから素手で拾っています。



そんな私の姿を見て、登校中にごみを集めてくれる子もいます。「学校に着いたら、ちゃんと手を洗うんだよ。」と声をかけながら、あれもこれもと拾ってくれるのです。そんな子の一人で4年生のSさんは、ちょうど中央公園下丁字路を上ってくるときに、崖にある排水の塩ビパイプの中から「先生、また入ってる。」と手を入れてとってくれたのが下の写真の清酒のワンカップの空き瓶。

「ほらほら、手が汚れるからもういいよ。」と言っても、子どもから見てちょうどいい高さにあるんでしょう、「またあった!」と言って次々に取ってくれました。お酒の銘柄は全て同じ。数日間かけて集まった数は合計21個です。ちょっと残念な数です。同じ銘柄ということは、入れる方も同じ人物なのか?



もみじが丘には長い間ボランティアでゴミ拾いをしてくださっている方もいらっしゃいます。その反面、きっとお酒を飲みながら、飲み干すと当然の如くここに差し込んでいく人も…。まあ、子どもたちの反面教師ではありますが。

夏休み作品と大物持ち込みウィーク(8/21~8/25)

大塔小の夏休みの登校日は長崎原爆の日(8/9)のみです。2学期始業日の8/29は子どもたちが大きな荷物とともに夏休みの作品を両手で持って登校する姿が目に見えます。

そこで、子どもたちの安全の確保のためにも、8/21~8/25をお子さんの作品や荷物を持ち込んでいただける期間とします。車の乗り入れも可能です。時間帯は8:30~16:30、事務室か職員室にお声がけいただき、お子様の教室の机上までお持ち込みください。

